

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 6 区分

【発行日】平成 28 年 2 月 18 日 (2016.2.18)

【公表番号】特表 2015-519263 (P2015-519263A)

【公表日】平成 27 年 7 月 9 日 (2015.7.9)

【年通号数】公開・登録公報 2015-044

【出願番号】特願 2015-503290 (P2015-503290)

【国際特許分類】

B 6 5 D 6/04 (2006.01)

B 3 2 B 27/36 (2006.01)

B 3 2 B 23/06 (2006.01)

B 2 9 C 45/14 (2006.01)

B 6 5 D 81/34 (2006.01)

B 6 5 D 6/14 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 6/04 B R Q Z

B 3 2 B 27/36 Z B P

B 3 2 B 23/06

B 2 9 C 45/14

B 6 5 D 81/34 U

B 6 5 D 6/14 B

B 6 5 D 6/04 B R H Z

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 12 月 24 日 (2015.12.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複合構造体であって、

該複合構造体の内部の周囲に少なくとも部分的に延びる側壁と、

第 1 の再生可能なポリマーを含む材料の少なくとも 1 つの層を含む少なくとも 1 つのラミネートを有する、前記側壁の少なくとも一部と、

少なくとも第 2 の再生可能なポリマーを含む少なくとも 1 つの射出成形部材と、
を備える、複合構造体。

【請求項 2】

前記少なくとも 1 つの射出成形部材は、複数の天然繊維を含む、請求項 1 に記載の複合構造体。

【請求項 3】

前記複数の天然繊維は、少なくとも 1 つの、植物による供給源によって、少なくとも部分的に製造される、請求項 2 に記載の複合構造体。

【請求項 4】

前記第 1 の再生可能なポリマーは、前記第 2 の再生可能なポリマーと実質的に同じである、請求項 1 に記載の複合構造体。

【請求項 5】

前記第 1 の再生可能なポリマー及び前記第 2 の再生可能なポリマーのうちの少なくとも

一方は、少なくとも部分的に分解性のポリマーであって、該少なくとも部分的に分解性のポリマーは、ポリラクチド系ポリマーである、請求項 1 に記載の複合構造体。

【請求項 6】

前記第 1 の再生可能なポリマー及び前記第 2 の再生可能なポリマーのうちの少なくとも一方は、少なくとも部分的に生物由来のポリマーであって、該少なくとも部分的に生物由来のポリマーは、セルロースである、請求項 1 に記載の複合構造体。

【請求項 7】

前記ラミネートは、少なくとも 1 つの基材を含み、前記材料の少なくとも 1 つの層は、前記基材の少なくとも一方の面に塗布される、請求項 1 に記載の複合構造体。

【請求項 8】

前記材料の少なくとも 1 つの層は、少なくとも、前記基材に施される第 1 の層と、該第 1 の層に施される第 2 の層とを含み、前記第 1 の層は、マイクロ波エネルギー相互作用材料を含み、前記第 2 の層は、前記第 1 の再生可能なポリマーを含む、請求項 7 に記載の複合構造体。

【請求項 9】

前記基材は板紙を含む、請求項 7 に記載の複合構造体。

【請求項 10】

請求項 1 に記載の複合構造体であって、

前記側壁は、少なくとも 1 つのコーナーを有し、前記射出成形部材は、前記少なくとも 1 つのコーナー内に延びる少なくとも 1 つのスプラインを有し、

前記複合構造体は、前記側壁の上端から延びるリムを更に備え、前記射出成形部材は、前記リムの少なくとも一部を形成するバンドを有し、前記射出成形部材の前記バンドは、前記少なくとも 1 つのスプラインと一体形成される、請求項 1 に記載の複合構造体。

【請求項 11】

前記複合構造体は、前記側壁から延びるフランジを更に備え、該フランジは、前記少なくとも 1 つのラミネートを有する、請求項 1 に記載の複合構造体。

【請求項 12】

前記射出成形部材は、前記フランジの少なくとも一部に沿って前記複合構造体の外縁の少なくとも一部の周囲に延びる構造体を含む、請求項 11 に記載の複合構造体。

【請求項 13】

前記射出成形部材の前記構造体は、前記側壁の上側部分に隣接する前記フランジの下側に固定される、請求項 12 に記載の複合構造体。

【請求項 14】

前記複合構造体は、底壁及びフランジを更に備え、前記側壁は、前記底壁から前記フランジまで延びる、請求項 1 に記載の複合構造体。

【請求項 15】

複合構造体を成形するために用いるブランクであって、

該ブランクから成形される前記複合構造体の少なくとも側壁を形成する少なくとも 1 つのラミネートであって、第 1 の再生可能なポリマーを含む材料の少なくとも 1 つの層を含む、少なくとも 1 つのラミネートと、

少なくとも第 2 の再生可能なポリマーを含む少なくとも 1 つの射出成形部材であって、前記少なくとも 1 つのラミネートと組み合わせられて該ブランクから前記複合構造体を成形する、少なくとも 1 つの射出成形部材と、
を備える、ブランク。